

添削指導を受ける手順について

2025.4.26

白亜の会 論作文研修担当

木村 夏子

①添削講師から、メールが届きます。

「白亜の会」による講座参加申込書に記載のメールアドレスは、添削講師と共有します。本講座以外では使用しません。

メールが届かない場合は、白亜の会まで連絡してください。 (aoyama.hakua@gmail.com)

②受講生から、添削講師に返信します。

まず、自己紹介をしましょう。

- ・学部・学科
- ・受験する自治体、校種、教科等
- ・試験の内容、スケジュールなど
- ・教師を目指す理由なども伝えるとよい。

③論作文をデータで送ります。 ※全体指導の演習で取り上げた課題を仕上げることから始めるとよい。

手書きの原稿は、Word で打ち換え、データを送ります。

(字数は、受験する自治体の条件に合わせてよい)

※講師から「郵送」の希望がある場合があります。

④講師から、添削したものが返ってきます。

指導事項を受けて「書き直す」と力が付きます。

⑤受験日までに、少なくとも3回は添削を受けましょう。

多様な問題例に挑戦すると「書き慣れ」て、自信がつきます。

⑥問題例は、

受験する自治体の過去問、自身で挑戦したい問題例、

全体指導で取り上げた課題、「白亜の会」から後日配付する問題例集などから、選びます。

※分からないときは、添削講師に相談して選びましょう。

そのほか、勉強の仕方についても相談に応じます。

★「報告・連絡・相談」ほう・れん・そう★

・メールが届いたら、即反応しよう・・・「返信、ありがとうございます。」※一文でもよい。

「添削していただき、ありがとうございます。」

・現状や予定を連絡しよう……………「教育実習中で、なかなか論作文に取り掛かれないでいます。今週末に実習が終わりますので、来週お送りできるよう頑張ります。」

・分からないことは、質問しよう